

ひどい熱!
インフルエンザかも?



インフルエンザの薬のいろいろ

インフルエンザウイルスが流行しています。外出後の手洗い、十分な休養とバランスの良い食事など、対策はいかがでしょうか?

それでもインフルエンザにかかってしまい具合が悪い時は、医療機関を受診される方が多いと思います。特に、お子さんが高い熱を出してしんどそうにしている時、一刻も早く、熱を下げてあげたいと思います。

◎48時間以内に!

医師がインフルエンザと確定診断して、ウイルスにかかってから48時間以内に抗ウイルス薬を使うことで、熱が1~2日早く下がります。ただ、薬は正しく使用できて初めて効

果がでます。48時間よりも経ってしまったからの抗ウイルス薬は、効果がありませんので、処方されないこともあります。

◎色々な成分の抗インフルエンザウイルス薬

成分	主な商品名	薬の形
アマンタジン塩酸塩	シンメトレル等 (A型にのみ有効)	錠、細粒
オセルタミビルリン酸塩	タミフル	カプセル、ドライシロップ
ザナミビル水和物	リレンザ	吸入
ペラミビル水和物	ラピアクタ	点滴
ラニナミビルオクタン酸エステル水和物	イナビル	吸入
バロキサビル マルボキシル	ゾフルーザ	錠

最近、新しく販売され始めたゾフルーザという薬ですが、インフルエンザにかかって48時間以内に1回のむだけで、効果が発揮される薬です。いままでは、1回の吸入剤はありましたが、吸入が苦手なお子さんや大人には、失敗してしまうリスクがありました。ただ、このゾフルーザも12才未満のお子さんでは体重が10kg以上ないと、この薬を使う事が出来ません。また、顆粒剤も準備されつつありますが、この冬の間には発売されないようです。ですので、錠剤のがのめるお子さん

に限られます。このような条件や医師の判断で、ゾフルーザが処方されないこともあります。

どの抗ウイルス薬でも、用法用量を守って正しく使用しましょう。例えば1日2回のむ薬を1度に2回分のもので、効果が望めず副作用が出やすくなるだけです。

薬がのめても、のめなくても、体の具合が悪い時は、暖かくして栄養・水分を出来る限りとり、ゆっくり休みましょう。咳が出る時は、マスクをして咳エチケットを守りましょう。

薬のギモン・質問は、お近くの薬局 もしくは、ぎふ薬事情報センターまで ☎058-247-5122

協力/ 岐阜県薬剤師会 〒500-8146 岐阜市九重町4-5

<http://www.gifuyaku.or.jp> 岐阜県薬剤師会

検索